

【訪問先詳細】

1 狭山市ビジネスサポートセンター（通称：サヤビズ）

- (1) 会 場 狭山市入間川 1-3-3
(2) 訪問時間 午後 1 時から午後 2 時 10 分まで
(3) 特徴など

～無料・ワンストップの伴走型中小企業支援施設～

- 中小企業の「強み」を発見し、極力コストをかけない販売戦略に関する具体的な提案（新商品の開発や事業の PR 方法、資金調達など）を行っています。
- 成果創出まで寄り添う伴走型の支援を無料・ワンストップで提供しています。
- 平成 31 年 4 月、狭山市駅前（西口）の市産業労働センター 2 階にオープンし、これまでに 3 年間の相談実績は 4,000 件（500 事業者）を超えています。
- 主な支援成果事例として、キッチンカーのレンタル事業を軸に、さやまキッチンカー協会としてイベント主催も始めた「野口自動車工業(株)」、抗がん剤治療の経験を活かしてケア帽の開発販売を始めた「(株)Tao Corporation」、自動販売機で武蔵野うどんの冷凍販売を始めた「三丁目の手打うどん」への支援があります。
- 隣接する狭山市民交流センター内に令和 4 年 4 月に開設した地元商品のアンテナショップ「SAYA Market&Cafe」では、サヤビズで支援した製品や地元商品の PR も行っています。
- 訪問先では、「SAYA Market&Cafe」や施設内を視察し、センターや支援先企業などの方々と意見交換を行います。

2 株式会社ノベルクリスタルテクノロジー

- (1) 会 場 狭山市広瀬台 2-3-1
(2) 訪問時間 午後 2 時 30 分から午後 3 時 50 分まで
(3) 特徴など

～次世代パワー半導体材料の開発で世界をリードしているベンチャー企業～

- 次世代パワー半導体材料として世界が注目している「酸化ガリウム」の技術開発を行っています。
- 「酸化ガリウム」は日本発の半導体材料で、耐熱性や耐圧性、変換効率に優れ、低価格でもあり、実用化されれば省エネルギー社会の実現に貢献できるものとして注目されています。

- 同社は株式会社タムラ製作所のカーブアウトベンチャー（*1）であり、国立研究開発法人情報通信研究機構（NICT）の技術移転ベンチャーです。
- 埼玉県先端産業創造プロジェクトで支援を行っています。（酸化ガリウム結晶の育成技術・複製技術等の研究開発、信州大学との産学連携事業（平成 29 年度～平成 30 年度））
- 実用化・商品化につながる 6 インチ（*2）の「酸化ガリウム」ウエハ（*3）の開発に成功しています。（国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）の「研究成果最適展開支援プログラム（A-STEP、令和 2 年度～令和 5 年度）」を活用）
- 訪問先では開発現場を視察し、代表及び社員の方々と意見交換を行います。

*1 「カーブアウトベンチャー」とは

企業が事業の一部門を切り出し、ベンチャー企業を新たに立ち上げ、独立させることです。

*2 6 インチ=152.4 mm、100 mmを超えると現在広く使用されている既存の製造ラインを使用した半導体製造が可能です。

*3 「ウエハ」とは

IC チップ（半導体集積回路）の材料となる、半導体物質の結晶でできた円形の薄い板のことです。

3 株式会社スギヤマ

- (1) 会 場 日高市下大谷沢 2-3
- (2) 訪問時間 午後 4 時から午後 5 時まで
- (3) 特徴など

～1 都 3 県の食品スーパーの 3 割に「ごぼう」を納入する中小企業～

- 圏央道による高い交通利便性を活かし、成長を続けている青果加工業の中小企業です。
- 障がい者・外国人などの多様な人材が活躍し、埼玉県障害者雇用優良事業者に認証されています。
- 創業以来、「ごぼう」を主体に仕入から加工・納品まで自社工場にて一貫した生産を行っており、1 都 3 県の食品スーパーの約 3 割に商品の納入実績があります。
- 顧客ニーズに応じたカット規格やパッケージ作業へ柔軟に対応するとともに、大型低温冷蔵庫を活用して、季節や天候に左右されない安定的な出荷を可能としています。
- 個性化が進む食へのニーズに応じた販売方法として、商品包装ビニールに調理方法がわかる QR コードを印刷するなどの工夫した取組も行っていきます。
- 太陽光発電パネルの設置（太陽光再生エネルギー率 28.68%）や食品廃棄ロス対策（野菜残渣を牛の飼料として提供）など環境にも配慮しています。
- 訪問先では工場を視察し、代表及び社員の方々と意見交換を行います。